

ウラン鉱石を運んだ先住民と
被爆者との出会い。

ドキュメンタリー
かふ

寡婦たちの村

日本初公開 上映会 & トーク

VILLAGE
OF
WIDOWS

The Story of the Sahtu Dene and the Atomic Bomb

Photo by Robert Del Tredici

1999年にカナダで初上映された『寡婦たちの村』は、先住民族サーツ・デネとカナダ北西準州のウラン鉱山の歴史に光を当てたドキュメンタリー映画です。日本初の上映会となる今回は、ピーター・ブロウ監督を迎えて、作品の背景や現在の状況などについてお話をさせていただきます。

2023.

12.10 (日) 14:00-15:00 『寡婦たちの村』上映
15:00-16:30 監督によるお話

会場 合人社ウエンディひと・まちプラザ マルチメディアスタジオ 北練6F
(広島市中区袋町6-36) *上映中の途中入場はできません

【お問い合わせ先】松永京子(広島大学大学院 人間社会科学研究科): kyokom@hiroshima-u.ac.jp

【共催】広島大学大学院 人間社会科学研究科ひろしま「平和研究」イニシアティブ
JSPS科研費基盤研究(B)「環太平洋圏における核と原爆をめぐる想像力と植民地主義の研究」
JSPS科研費基盤研究(C)「殖民暴力とデコロナイゼーションから考える平和学」
原爆文学研究会



ピーター・ブロウ監督

来広!

定員100名程度
(先着順・要申込)

無料

広島と長崎の原爆製造に使用されたウラン鉱石は、カナダ北西部で採掘され、その後、放射線の危険性について全く知らされていない先住民労働者サーツ・デネ人たちによって運搬されました。長年にわたり、このコミュニティはがんで多くの男性を失い、「寡婦の村」として知られるようになりました。1999年、映画監督ピーター・ブロウは、原爆に使用されたウラン鉱石の採掘と運搬によって、サーツ・デネの人々がどのような影響を受けたのかを調査した約1時間のドキュメンタリー『寡婦たちの村』を制作しました。

お申し込みは
「予約制」です

【締切:12月3日(日)】

お申し込みフォーム

<https://forms.gle/L928c7jfVHxhYVeP9>
こちらのQRコードからもご予約いただけます。

